

9月17日(日) 研究発表第6室(722)

クローズド・キャプション付き映画での uh-huhの用法について

On the Usage of *uh-huh* in Closed-captioned Movies

専修大学 佐藤 弘明

クローズド・キャプション, 映画, 口語英語, コーパス, データベース

●まとめ

本発表では、まず、筆者が開発したマルチメディア型データベースを使って、クローズド・キャプション付き映画で使われる語彙を分析し、使用頻度の高いものを明らかにする。次に、使用頻度の高かったuh-huhという語を例にして、辞書の説明では発音や使われる状況が十分に理解できない点を指摘する。最後に、マルチメディア型データベースを使えば、uh-huhとuh-uh, uh-oh, mm-hmm, mm-mmなどの語との違いを分かりやすく説明できることをビデオで紹介し、口語英語の教育に映画を利用したマルチメディア型データベースが有効であることを論じる。

●コーパス研究

コンピュータの処理能力の向上によって大量の文字データの処理が可能となり、多くの英語研究者がコンピュータを用いた語彙分析を行えるようになった。その研究成果は、*Collins COBUILD English Language Dictionary*などの辞書の編纂にも利用され、英語教育に大きく貢献している。

書き言葉については、現在、多くのデータがコンピュータで利用できるが、話し言葉のデータは、コンピュータに入力するのに時間がかかるため、不足している。そのため、映画で英語教育をする場合に、どの語彙が重要であるかについて、データに基づく分析が難しい。多くの辞書が、使用頻度の高い書き言葉について解説していても、映画でよく使われる表現に関しては十分に解説していないのは、話し言葉のデータ不足が一因であると考えられる。

●クローズド・キャプション付き映画を利用したデータベース

筆者が開発した英語字幕データベースは、英語の話し言葉のデータをクローズド・キャプション付き映画から収集しており、映画の中で使われる単語の使用頻度の分析ができる。現在、303作品、260万語のデータがコンピュータに入力できている。英語字幕データベースを使えば、映画を使って口語英語の教育をする際に、どの語彙が大切であるかを使用頻度に基づいて

判断することができるので、「学校で教える英語は実際には使われない」などという批判をかわすことができる。

さらに、このデータベースは、マルチメディアに対応しており、検索された語句が使われる場面をレーザーディスク映画で再生し、その語句がどのような場面で使われ、どのように発音されるのかを確認できる。文字データだけを登録したデータベースには、登録単語数が2億語を越える *The Bank of English* がある。しかし、音声・映像を再生できるもので、そのように多くの単語を登録したデータベースは、開発されていない。

●映画での頻出語彙

『JACET基本語4000』にない語で映画で使用頻度の高かったものは、uh, huh, hmm, um, uh-huhなどの間投詞と、shit, fuck, assholeなどのタブー語であった。それ以外には、'cause, 'em, ma'am, yeah, anymore, terrific, weirdなどが多くの映画で使われていた。

●uh-huhの分析

辞書には、uh-huhという語が同じ綴りでyesの意味とnoの意味を持ち、2つの意味が発音の違いによって区別される、とあり、発音記号によって発音の違いを示している。しかし、この語の発音記号は分かりにくく、筆者には発音の手本を学生に示す自信がない。しかも、発音記号が辞書によって異なっており、どれが正しい発音記号なのかが分からない。

英語字幕データベースを使って調べると、クローズド・キャプションでは、uh-huhがyes, uh-uhがnoを意味し、綴りの違いで2つの意味が区別されていることが分かった。

(1) Well, that was pretty great, huh? -- Yeah, uh-huh.

(2) Everybody hates me. -- Uh-uh, not that guy over there.

さらに、uh-huhがthank youに対する返答に使えるという事実も、映画の場面で確認できた。

(3) Thanks. -- Uh-huh.

また、uh-uhと類似しているuh-ohについては、説明のない辞書があったが、映画では両者が区別されて使われていた。

さらに、mm-hmm, mm-mmなどの語も、意味の違いが微妙な発音の違いに反映されていた。

辞書の説明だけでは、これらの語の発音と使われる状況を理解することが難しい。英語字幕データベースを使えば、これらの語の微妙な発音の違いだけでなく、使われる場面の違いも映画で確認することができるので、映画を使った口語英語の教育に役立つ。

9月17日(日) 研究発表第6室(722)

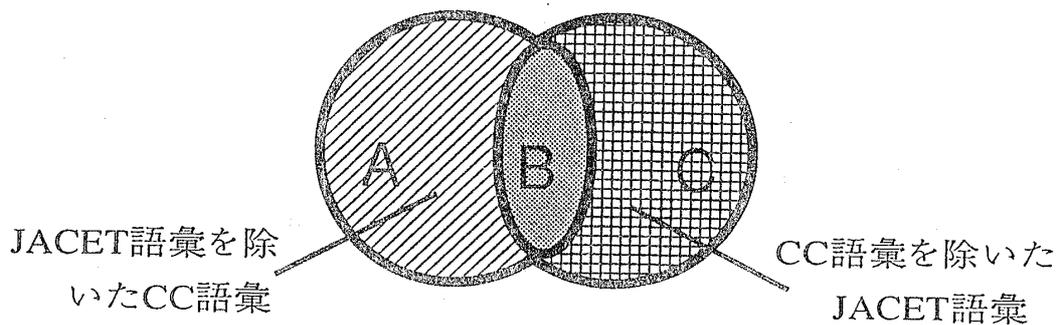


図1 『JACET基本語4000』[1]とクローズド・キャプション[2]との比較

(4) 綴りの違い: mm-hmm, uh-huh, uh-uh, mm-mm, mm-mmm

(5) uh-huhの発音記号の違い

(a) [əhʌ][3][4]

(b) [ʌhʌ, ʌŋhʌŋ] [5]

(6) uh-uhの発音記号の違い

(a) なし[3]

(b) [ʔʌʔʌ, ʔmʔm, ʔ ʔ, ʔ ʔ] [4]

(c) [ʌʔʌʔ, ʔ ʔ, ʔ ʔ] [5]

使用ソフト

語彙使用頻度の分析: MacPerl4.1.8 (free software)

データベース: 4th Dimension 3.1.1J, 株式会社SRA

参照資料

[1] JACETLST.TXT(『JACET基本語4000』(1983)のテキストファイル), ニフティー・サーブ・英会話フォーラム・2番ライブラリー登録番号91

[2] レーザーディスク映画に入れられたクローズド・キャプション

[3] プロシード英和辞典(改訂新版), 1991年, 福武書店

[4] プログレッシブ英和中辞典(第2版14刷), 1991年, 小学館

[5] リーダーズ英和辞典(初版9刷), 1989年, 研究社

連絡先 nifty-serve: GCD01042

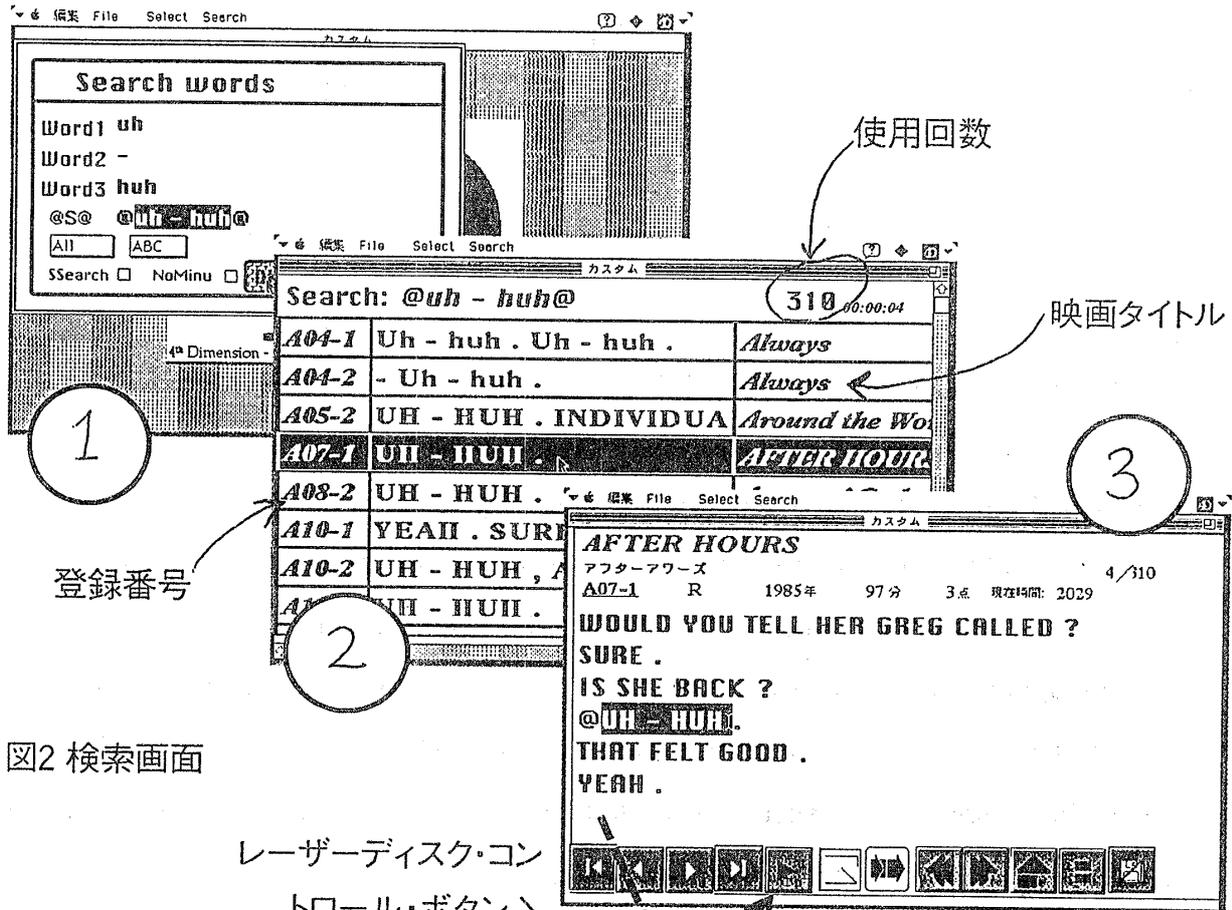


図2 検索画面

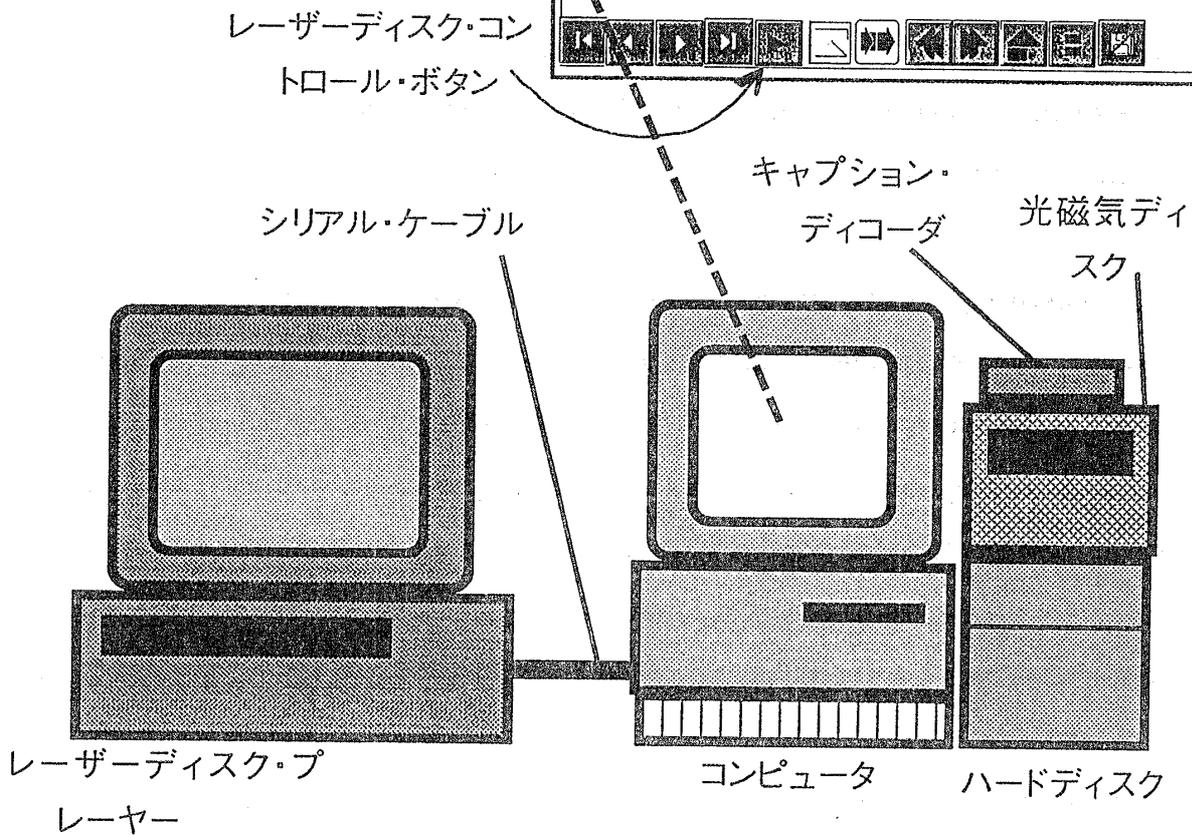


図3 システム全体図